



©河合克敏・小学館/モンキーターンプロジェクト ©YAMASA

◎パチスロ モンキーターンII

2011年に登場した「パチスロ モンキーターン」は、人気競艇漫画が原作。当初はあまり注目されませんでした。ホール導入後に爆発的な人気を獲得し、最終的には約6万台が販売される大ヒット機となりました。その後継機が今回取り上げる「パチスロ モンキーターンII」。

市場導入は4月7日、初期販売台数は約3万台という本機の魅力に迫ります。

AT「SG RUSH」(初回セット数は50G+aで、継続時セット数は40G+a)は純増約2.3枚/G。また、三つの異なる上乗せ演出から好きな演出を選べる上乗せ特化ゾーン「全速モード」で期待感を盛り上げる。

初代の特徴に、数々の新演出

初代はART機でしたが、今回はAT機。ATの純増枚数は約2.3枚/G、AT初当たり確率は1/294.1~1/223.5、出玉率は97.3~112.5%、コイン単価は約2.8円、ベースは1000円あたり31G。天井は、通常Aが999G、通常Bが704G、リセットモード時が512G、天国モード時が128Gです。

■選べる自力チャンスゾーン

AT初当たりのルートは、規定G数消化で突入する「優出モード」経由と、自力チャンスゾーン「超抜チャレンジ」の2パターン。いずれも初代でおなじみですが、新演出が加わりました。

「優出モード」は、主人公・波多野健二の恋人・生方澄が登場するとATが確定する「澄ver.」を新搭載。

初代では「ペラ(ボートのエンジンのプロペラの略称)」図柄ぞろいだけだった「超抜チャレンジ」の抽選パターンは、三パターンの中から選べるようになりました。

まず、「洞口チャレンジ」は、10G間にリプレイを3連続させるとATが確定。「蒲生チャレンジ」は、9G間に液晶演出で貯めたポイントをもとに10G目、AT抽選。「榎木チャレンジ」は1G演出で、液晶に現れた競艇界の帝王・榎木が開眼すると、ATが確定します。

なお、「超抜~」では期待度70%の

「波多野チャレンジ」に突如突入することも。液晶に龍が現れる初代「超抜~」と同様の演出で、その間はペラ図柄ぞろいでATを抽選。レア役だとATが確定します。ATが確定すると、次回は天国モードへ。

■AT「SG RUSH」

AT「SG RUSH」は純増約2.3枚/Gで、1セットの基本G数は初回が50G、2セット目以降が40G。初代で好評を博した、セットごとに異なる継続率が設定されている「継続率テーブル管理方式」を今回も採用しています。

一つ一つのセットが、競艇界でもっともグレードの高い「SGレース」(全8大会)と対応。一つのSGバトルに勝つと、AT継続が確定し、新たなSGレースが開幕。SG全8レースを制覇すれば(すなわち8セットを完走すれば)、次回、天国モードが確定するという、初代同様の展開が楽しめます。

AT突入時に8セットが確定する「絶対継続 艇王ロード」も健在。加えて、波多野に思いを寄せる女子選手・青島優子が出場すると、AT継続が確定するなど、新演出も搭載されています。

■選べる上乗せ特化ゾーン

上乗せ特化ゾーン「全速モード」には、AT中の特定役の一部を契機に突入。登場するキャラによって上乗せ

の仕方が異なる3パターンから、好きなものを選べます。「波多野全速」ならば、レア役を引くまで継続し、レア役で上乗せ確定。「青島全速」ならば10G固定で、リプレイorレア役により上乗せ確定。そして、一発抽選の上乗せ勝負が楽しめるのが、波多野と澄の友人・ありさが登場する「ありさ全速」で、10or100G以上を上乗せします。

全体として初代をほどよく進化させており、天井一つ見ても、より触りやすくなった感じです。大量獲得を期待できる反面、スペック的には辛いMAX AT機が主流の市場で、支持するファンも多いのではないのでしょうか。

上乗せは、初代よりも見栄えが劣るのではという懸念がなくありませんが、それは店のアピール次第。パチスロも、MAXスペックのみで機種構成はできません。ジャグラーなどのAタイプ、コイン単価3.5円以上の高単価AT機に加えて、本機のような機械があってもいいのではないのでしょうか。

PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)
株式会社アテイン 代表取締役
関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は約23年。現在はホールコンサルタントのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている(詳しくは<http://at-attain.com>参照)。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。